

農場祭の報告書

フィールド科学系部門 窪田 浩和

1. 事業名 農場祭(学部公開)
2. 実施日時 平成26年11月2日(日曜日) 天候(曇り時々晴れ)
3. 実施場所 大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター
西条ステーション(農場)
4. 来訪者数 約1050名



(屋台や受付周辺)

5. 技術職員参加メンバー 窪田, 山城, 東脇, 積山, 近松, 山口, 木原, 田中, 脇, 北村, 川口
6. 企画事項

- ・搾乳体験コーナー 担当 窪田, 積山, 田中

実施内容

搾乳体験前に注意事項や搾乳方法を説明した。今年度も小学校以下のお子さんが多数参加され大いに賑わった。皆さん手で搾ると生の牛乳が乳頭から勢いよく出るのに感動され「牛乳って暖かいんだ」と分かって頂いた。毎年、定員オーバーになり搾乳体験が出来ない人がいるのが残念である。



- ・ふれあい動物コーナー 担当 山城, 脇, 北村

実施内容

中小家畜舎において実施した「家畜とのふれあい体験」は、一般の方が普段接することのないヤギ・ヒツジなどの家畜を身近に感じてもらえることを目的として、「ヤギの餌やり体験」を実施した。なお家畜伝染病予防法を鑑み、餌やり体験参加者および見学者の出入りの際には、踏込消毒槽による靴の消毒ならびに手の消毒にご協力いただき、また直接動物にふれることがないよう餌を与えるのは柵ごしにて行った。

11時から開始し、午後から約1時間に1回、合計で4回餌やり体験を行う。1回の実施につき20名程度の参加者を募り、ヘイキューブという乾草飼料や木の葉などを与えてもらった。

自らがヤギ・ヒツジに餌を与えることにより、同じ草食動物でも餌の好みが変わっていたことや、目の前で聞くヒツジの鳴き声の大きさに驚き一緒に鳴きまねをしてみるなど、大変興味を持って参加していただけたようであった。(北村)



・竹とんぼコーナー 担当 川口

実施内容

今年度も昨年と同様に竹とんぼ作りを行った。ある程度、担当職員と学生で作成し、道具を使用しなくても良いように行ったが、何か物足りないようであった。また、竹とんぼ作りが有料と勘違いしている方もおられたせいで敬遠された方もおられたのではないかと。



7. まとめ

前日大雨で農場祭が開催されるか大変心配であったが、当日良い天気に恵まれ大勢の人で賑わった。技術職員が各コーナーを担当し搾乳体験やふれあい動物コーナーでは大勢の人に体験をしてもらい大変好評であった。毎年この機会を利用し広大農場を知ってもらえる機会ができ、地域貢献にもアピール出来たと思う。